#### 2019 年度就職先へのグループインタビュー調査結果

本学卒業生の主要就職先である社会福祉法人(3法人)に対して、2019年12月に以下の3点について、グループインタビュー形式で同時にヒアリングを実施しました。

- ①職員採用時に応募者の着目・評価するポイント、本学学生の特徴(強み・弱み)
- ②採用に当たっての苦労と面接での質問ポイント
- ③「学修到達レポート」(本学版ディプロマ・サプリメント) についての講評 以下にその結果について報告します。

#### 設問①:職員採用時に応募者の着目・評価するポイント、本学学生の特徴(強み・弱み) 回答:

(A 法人) 他大学を含めて全体的な傾向としてコミュニケーション能力が課題と感じている。採用以前の1ヵ月間の実習を通じて少しずつ身に付けていってもらっているのが実情である。相手の言いたいことを引き出せるコミュニケーションがなければ社会福祉士の職域としてとして業務が成り立たない。コミュニケーション能力だけは個人差が大きくて、できる学生はスッと入っていける。

日本福祉大学の学生全体としては、スキルは比較的高いように感じているが、学部によって もだいぶ違う。同じ社会福祉学部内でも社会福祉士を諦めた学生とそうでない学生とは若干 の違いはあるように思う。

- (B法人) 貴学に限らず最近の学生は PC スキルや携帯の使い方以外(のジェネリックスキル)はだい ぶ落ちてきている。団塊ジュニアの世代あたりと今の学生と比較して特にそう感じる。スキルだけでなく、コミュニケーションや社会人として来客時や上司に対する基本的なマナーが できていない学生が多い。
- (C 法人) 貴学に限らず特に利用者に対する接遇やマナーが気になる。実習していても途中で寝てしま う学生もおり、目的意識をもって、例えば特別養護老人ホームに来るなら何をしたいのかと いうところをもって実習に臨んでもらいたい。
- (A 法人) 高校生の本法人への就職活動の様子と比較して、挨拶、笑顔などのマナーやふるまいは、高校生の方が指導が徹底されている。大学生は元気さがない。

## 設問②:採用に当たっての苦労と面接での質問ポイント

#### 回答:

- (A 法人) まず挨拶がしっかりできるかは見る。ただ一定面接対策をしてくるので正直、採用面接では見えないというのが実感。どちらかというと入ってから本人がイメージと違って辞めてしまうというのが悩ましく、法人としても web 等を通じて仕事の内容を発信しているがなかなか伝わらない。
- (B法人) 面接では協調性を見る。質問の仕方としてこれまで一番頑張ったことを聞いた上で、その中で困ったこととどうやって解決したかというのを聞く。その際に先輩や周りに相談したというプロセスがあるかを見ている。

学生は話す内容をそれなりに仕込んでくるが、では例えばサービス対象になる子どもに何がしたいかということを具体的に踏み込むと答えられない。やはり在学中にインターンシップ等を通じて現場の実感をもって臨んでもらいたい。

- (C 法人) 面接するときには、本人のイメージと仕事の実際との間にギャップがないかをおさえるため に十分に説明する。たとえ社会福祉士として相談援助の領域を希望していても、採用されれ ば現場の介護や夜勤とかも一通りやることを伝えてミスマッチを防いでいる。そういう意味 でもやはり自分が希望する種別の施設で実習はしてほしいが、実際はそうした形で実習する 学生は全体の 4 割ぐらいだと思う。
- (A 法人)「客観性」を磨いて臨んでほしい。思い入れが強い学生が多く、他者や相手方の気持ちを受け 止められる寛容性をもってほしい。

# 設問③:「学修到達レポート」(本学版ディプロマ・サプリメント) についての講評 回答:

- (B 法人)(ディプロマ・ポリシー別 GPA のレーダーチャートについて)この数値の出し方の基準や、 絶対評価、相対評価など、何に基づき出ているのかを明確にしてほしい。
- (A 法人) 在学中の成績は実際にはあまり参考にしないし現在の就職市場からいってもそういうところ で足切りなどをできる状況にはない。ただ、最終的に 2 人を 1 人に絞るという場面では参考 にするかもしれない。
- (C 法人) その人を知るというところでは、より多くの情報をもらえるというところではありがたい。 採用時というより、エリアごとの配置の際などに参考になると思う。
- (A 法人) できれば個人ごとに推移がみたい。指導を受けた後や実習の前後で伸びているかどうかといった点は見てみたいと思う。

以上



# 日本福祉大学 学修到達レポート

# 1. 基本情報

フクシ タロウ

## 福祉 太郎

学籍番号	99FG9999	学部	社会福祉学部
入学年度	2017	学科	社会福祉学科行政専修

#### 2. 正課活動の成果

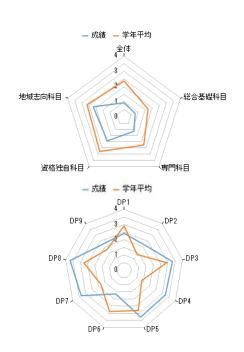
総取得単位	116	単位	GPA	0.68	
卒業論文テーマ					
取得(見込)資格					

#### 科目郡ごとのGPA

科目群名	個人	学科平均

#### ディプロマ・ポリシー (DP) ごとのGPA

ディプロマ・ポリシー(略称)	個人	学科平均



社会福祉学部 社会福祉学科行政専修 の ディプロマ・ポリシー

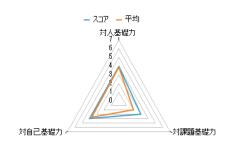
## 3. 正課外活動の成果

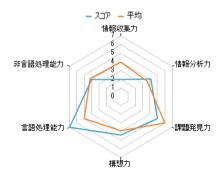
所属サークルボランティア特記事項

# 4. ジェネリックスキル・語学力等

コンピテンシー		
分類名	スコア	平均

リテラシー		
分類名	スコア	平均





語学力 英語能力

その他

5. 総評

ゼミ科目担当教員

教員 太郎

発行日 2018年4月18日

学長 児玉 善郎

